

アーバンファーマーリング運動で都市と人々を元気に！

JVEC

Japan Vegetable Community



JVEC

一般社団法人ジャパンベジタブルコミュニティ

〒101-0047
東京都千代田区内神田 1-10-8 ハゴロモビル2F
TEL 080-5473-9028
<https://www.jvec.jp/>





ビルの屋上を菜園にしませんか

一般社団法人ジャパンベジタブルコミュニティ (JVEC) は都会に住んでいる人々、また働いている人々に、「心身のレクリエーション」として農作業を楽しんでいただくための活動をしている非営利の団体（一般社団法人）です。都会に住み、都会で働いているといつの間にか自然から遠ざかり、土から離れてしまいます。確かに都会は便利であり、刺激的であり、チャンスも多くありますが、その一方で大きなストレスがあり、都会生活に疲れた多くの人々を生み出しています。

JVEC は都会に住み、働く人々に野菜づくりを通じて幸せになって頂きたいという願いのもと、「どこでも野菜づくり」ができる菜園施設、また簡単で、楽しい有機野菜づくりを提案・実施しています。

職場でも「野菜づくり」で気分転換、ストレス解消

現在多くの仕事はパソコンの前で行われます。

目を酷使し、また社員同士のコミュニケーションの機会も少なくなってきました。

まさにデジタル化された企業社会の光と影です。

休憩時間、ランチタイムに屋上に上がって野菜に触れたり、

仲間と一緒に作業したり、収穫すれば良い気分転換、

ストレス解消の時ともなります。



都会のビル砂漠の中に小さな美しい田園風景をつくります

事務所ビルの屋上

施工事例

三井住友海上火災保険本社屋上菜園（お茶の水）

物流センター屋上菜園（千葉県）

ハゴロモビル屋上菜園（神田）

商業ビル、社会福祉施設

施工事例

ルミネ北千住店 屋上菜園（北千住）

銀座レストラン 屋上菜園（有楽町）

押上ケアハウス（押上）

入谷特養老人ホーム（入谷）



私たちが目指している、市民のための市民による有機的農業

里山の資源、ヒノキの間伐材と竹炭を活用して、日本の森を守る。

日本の美しい山林を守るためヒノキをはじめとした間伐材の活用。

「美山優品」のコンセプトで自然環境と人に優しい商品を山梨県南部町の山静商会株式会社と開発・販売中!

また、今、山林に異常繁殖し拡大し続けている放置竹林の竹を竹炭という資源に生まれ変わらせ、

大地再生に取り組む、認定NPO法人いすみ竹炭研究会の「いすみのいすみ」を、土壌改良、カビ予防として活用。



**有毒な化学農薬を一切使っていないので
都会の屋上で幼児から女性、高齢者、障害者の皆さんが
菜園に近づき楽しむことができる、ユニバーサル菜園。**

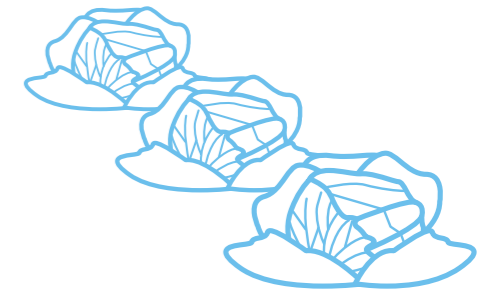


軽量土壌で野菜・果樹の有機栽培

JVEC は市民による市民のための有機的野菜栽培のやり方を研究、開発、実践してきました。都会の真中では野菜づくりができるような農地は限られています。そこで JVEC は建物の屋上に注目しました。屋上で使う土は土のメーカーで品質検査を受けた病害虫のいないきれいな、そして超軽量な有機土壌です。屋上菜園には露地の畑のように耐性を持った病害虫も少なく、まさに屋上こそ有機栽培には最も適した場所と言っても過言ではありません。

JVEC は14年以上屋上菜園活動を続けてきました。屋上菜園のプラス面とリスク面を熟知しています。都会に住む、あるいは都会で働く皆さん、JVEC と一緒に屋上での有機野菜づくりを始めてみませんか。

都会での野菜づくりは同時にコミュニティづくりにつながっていきます。都会が無縁社会化していると言われていますが、屋上菜園コミュニティは無縁社会を有縁社会にする可能性を孕んでいます。孤独な人々が屋上菜園で人とつながっていきます。



屋上菜園で収穫した小玉スイカ（駅隣接の商業ビル屋上）



JVEC 式 有機的農法の 7 つの基本的特徴

1

栽培場所

建物の屋上は通常太陽光が溢れ、また病害虫も少なく有機栽培にはうってつけの場所です。一方風雨も強く安全対策が重要となります。風雨の影響の少ないハウス栽培とは違うところがあります。遅く育った野菜が旬の時に実を結びます。超軽量の有機土壌を使っているため既存の殆どどの建物の屋上で栽培することができます。

2

栽培用土壌

建物の重量制限がありますので、超軽量の有機土壌を使い、土の深さたった20cm未満で葉物野菜、実物野菜、根物野菜を栽培しています。栽培については「どうするか」だけでなく、「なぜそうするか」まで理解するようにしています。栽培方法を分かりやすく、正確に、そして実行しやすく指導します。

3

有機的栽培

化学肥料、化学農薬を一切使わない有機的農法です。肥料は低投与型です。使う肥料は有機質肥料、主に植物性です。土壌中の微生物のバランス状態を良い状態に保つためにポーラス竹炭も使用しています。フルボ酸など最新の資材も活用していきます。

4

菜園施設

菜園施設を安全第一、作業性で設計・デザイン・製作。栽培作業中に怪我をすることがないように。ネット、支柱などが強風で飛散、落下して事故を起こすことがないように。また屋上と室内を自由に移動できる移動式菜園設備も有ります。

5

菜園ガーデン

野菜だけの畑ではなく、ハーブ、果樹、花もあるガーデンをご提案します。生態系を大切にします。

6

「農」の癒し

自然に触れる「農」の癒し効果、小さな幸せ体験のためのセミナー開催、研修プログラムづくり。

7

コミュニティ

野菜栽培を通じて生まれる人と人との普段着のつながり。

屋上有機菜園・期待される 3 つの効果



安心・安全な食べ物

安全・安心な旬の野菜 化学農薬、化学肥料を使っていないので、安全、安心な、新鮮な旬の野菜を食べることができます。



建物に付加価値

緑のある快適なオフィス、地元の顧客が野菜の成長を楽しみに来館する商業ビル、四季の変化と野菜の手入れに幸せを感じる福利施設を目指します。



生活の質の向上

都会にいながら四季の変化 すぐ行くことができる屋上で、土や植物に触れ気分転換、ストレス解消、癒し効果。野菜、果樹、花の成長を見て、都会にいながら四季の変化を楽しむことができます。

